



弘道館・偕楽園（茨城県水戸市）、
足利学校（栃木県足利市）、
咸宜園・豆田町（大分県大分市）、
閑谷学校（岡山県備前市）は、
「近世日本の教育遺産群」として
世界文化遺産登録を目指しています。

*これらの教育遺産群は、平成27年4月に「近世日本の教育遺産群
―学ぶ心・礼節の本源―」として「日本遺産(Japan Heritage)」
認定を受けています。

旧閑谷学校
世界遺産
登録推進活動
講演会

2019.2/9 (SAT)

13:00~15:45

備前市市民センター2階講座室
参加定員150名・申込不要

受講料 無料

本講演会では、教育遺産世界遺産登録推進協議会の専門委員の先生方をお招きし、教育遺産群の魅力や世界遺産登録へ向けての検討状況などについてお話しいただきます。

講演①

「閑谷学校から見る未来の学習」

橋本 昭彦 先生 (国立教育政策研究所)

講演②

「世界文化遺産と日本の文化財保護法の思想」

江面 嗣人 先生 (岡山理科大学)

【主催】

教育遺産世界遺産登録推進協議会/旧閑谷学校世界遺産登録推進委員会/備前市/備前市教育委員会

【共催】

岡山県教育委員会

【後援】

山陽新聞社/RSK山陽放送/(公益財団法人)特別史跡旧閑谷学校
顕彰保存会/岡山県商工会議所連合会

講演会
登録推進活動
世界遺産
旧閑谷学校

水戸市、足利市、日田市、備前市で構成する教育遺産世界遺産登録推進協議会では、弘道館・偕楽園(茨城県水戸市)、足利学校(栃木県足利市)、咸宜園・豆田町(大分県日田市)、閑谷学校(岡山県備前市)を「近世日本の教育遺産群」として世界文化遺産登録を目指す取り組みを推進しています。平成30年11月には、各市の市長より文化庁へ、旧閑谷学校を含む近世日本の教育遺産群の世界遺産への検討状況をまとめた「検討状況概要報告書」を提出し、我が国の世界文化遺産暫定一覧表への追加記載の要望を行いました。

今回の旧閑谷学校世界遺産登録推進活動講演会では、教育遺産世界遺産登録推進協議会の専門委員の先生をお招きし、教育遺産群の魅力や世界遺産登録へ向けての検討状況などについてお話しいただきます。

[これらの教育遺産群は、平成27年4月に「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」として「日本遺産(Japan Heritage)」認定を受けています。]

2019.2/9 (SAT)

13:00~15:45

備前市市民センター2階講座室

参加定員150名・申込不要

受講料 無料

■日程

- 13:00~13:05 開会あいさつ
- 13:05~14:15 講演① 『閑谷学校から見る未来の学習』 橋本 昭彦 先生 (国立教育政策研究所)
- 14:25~15:35 講演② 『世界文化遺産と日本の文化財保護法の思想』 江面 嗣人 先生 (岡山理科大学)
- 15:40~15:45 閉会あいさつ

■講師プロフィール

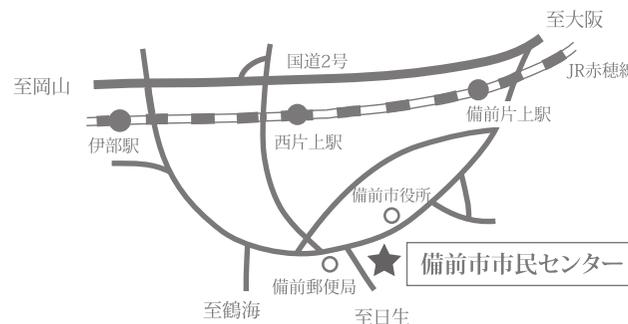
橋本 昭彦 (はしもと あきひこ) 氏

1959年大阪府生まれ。広島大学大学院博士課程修了。同大教育学部助手を経て現職。国内外の試験や勉強の歴史を研究。足利市世界遺産検討会議座長。著書に『江戸幕府試験制度史の研究』(風間書房1993)、『昌平坂学問所日記1~3』(斯文会1998,2002,2006)、共著『近世日本における「学び」の時間と空間』(溪水社2010)など。

江面 嗣人 (えづら つぐと) 氏

専門は日本建築史、文化財建造物修復、町並み保存。文化庁の主任文化財調査官を経て、現在岡山理科大学工学部建築学科教授。岡山県および香川県の文化財保護審議会委員、備前市及び日田市の世界遺産登録推進協議会専門委員、中四国地方市町村の文化財保護審議会や伝統的建造物群保存審議会の委員長等を多数務める。学術博士、一級建築士。

■会場へのアクセス



- 備前市市民センター(岡山県備前市西片上17-2)
- J R 赤穂線 西片上駅より徒歩5分
- 高速道の場合 山陽自動車道備前インターより10分
- 一般道の場合 国道2号線伊部交差点より10分
- 駐車場 あり(約60台)

■お問い合わせ

旧閑谷学校世界遺産登録推進委員会 まで
(備前市教育委員会文化振興課内)
〒705-8602 岡山県備前市東片上126
☎ 0869-64-1846 FAX 0869-64-2112

- 【主 催】 教育遺産世界遺産登録推進協議会/
旧閑谷学校世界遺産登録推進委員会/
備前市/備前市教育委員会
- 【共 催】 岡山県教育委員会
- 【後 援】 山陽新聞社/RSK山陽放送/
(公益財団法人)特別史跡
旧閑谷学校顕彰保存会/
岡山県商工会議所連合会

